

平成30年度第1回 南相馬市地域協議会合同会議会議録

会議の情報	
日時	平成30年4月18日(水) 午後1時30分から午後4時00分まで
場所	浮舟文化会館 多目的ホール
議長	小高区地域協議会長 林 勝典
参加者	<p>【委員】</p> <p>(小高区)</p> <p>林 勝典 委員 渡部 義則 委員 玉川 敬 委員 橘 由美子 委員 本田 博信 委員 田中 由里子 委員 堀内 洋伯 委員 西山 喜代子 委員 小牛田 一男 委員 飯塚 宏 委員 杉 重典 委員 小林 友子 委員 山崎 正典 委員</p> <p>(鹿島区)</p> <p>加藤 栄伸 委員 江袋 大輔 委員 多田 和夫 委員 佐藤 知子 委員 西内 千恵子 委員 小倉 聡美 委員 森 和浩 委員 大内 彰 委員 星 ちづ子 委員 濱名 美代子 委員 太田 睦美 委員 西 みよ子 委員</p> <p>(原町区)</p> <p>西山 良雄 委員 猪野 昇 委員 濱田 賢次 委員 宮下 亨 委員 西 祥一 委員 鈴木 清重 委員 高野 博幸 委員 山城 雅昭 委員 齋藤 実 委員</p> <p>【事務局】</p> <p>市長 門馬 和夫 副市長 林 秀之 副市長 松浦 隆太 教育長 大和田 博行 小高区役所長 紺野 昌良 鹿島区役所長 濱名 邦弘 原町区役所長兼総務部長 石川 浩一</p>

	復興企画部長	庄子	まゆみ
	市民生活部長	佐藤	幸雄
	健康福祉部長	羽山	時夫
	健康福祉部理事（子育て支援・健康づくり担当）		
		牛来	学
	経済部長	植松	宏行
	建設部長	菅原	道義
	総合病院事務部長	新田	正英
	小高病院事務部長	西谷地	勝利
	教育委員会事務局長	木村	浩之
	総務課長	宝玉	光之
	小高区地域振興課長	上野	勝
	鹿島区地域振興課長	高野	雅伸
	原町区地域振興課長	宝玉	光之
	総務課市民活動支援係		
	係長	石川	智浩
	係員	桃井	保典
		渡部	広太
		米田	千江美
	小高区地域振興課		
	主任主査	藤田	幸一
	係長	門馬	修一
	係員	鶏徳	浩司
		相良	晃平
	鹿島区地域振興課		
	主任主査	渡邊	昌徳
	係長	星	憲
	係員	塩	弘光
	原町区地域振興課		
	係長	石川	智浩
	係員	桃井	保典
		渡部	広太
		米田	千江美
欠席者	(小高区) 佐藤 直美 委員 和田 智行 委員		

	(鹿島区)		
	松野	豊喜	委員
	櫻井	義晴	委員
	遠藤	賢明	委員
	(原町区)		
	渋佐	克之	委員
	渡部	順子	委員
	高玉	智子	委員
	渡邊	国弘	委員
	中澤	邦子	委員
	岡崎	由佳	委員
公開/非公開	公開	傍聴者	0人
議題			
報告事項			
①平成30年度南相馬市一般会計当初予算の概要について 【説明：財政課】			
②南相馬市農業農村活性化施設条例・施行規則の廃止（案）について 【説明：農政課】			
非公開部分の理由（南相馬市情報公開条例）			
	条例第7条第1号 法令秘情報		
	条例第7条第2号 個人情報		
	条例第7条第3号 法人等情報		
	条例第7条第4号 公共の安全等に関する情報		
	条例第7条第5号 審議、検討又は協議に関する情報		
	条例第7条第6号 事務又は事業に関する情報		
問合せ先			
担 当	総務部総務課		
電 話	0244-24-5222		
FAX	0244-24-5214	メール	somu@city.minamisoma.lg.jp

総務課
市民活動支援係長

1 開 会

委員の皆様には、お忙しいところご出席いただきまして誠にありがとうございます。定刻になりましたので、ただいまより平成30年度第1回南相馬市地域協議会合同会議を開会いたします。

本日の進行を務めさせていただきます総務課の石川と申します。よろしく願いいたします。

2 委任状交付

初めに、委員の紹介及び委嘱状の交付を行います。紹介は小高区・鹿島区・原町区の順にそれぞれ行いますので、お名前を呼ばれましたら、恐れ入りますが、その場でご起立くださいますようお願いいたします。なお、欠席の方を含めてご紹介させていただきます。

(1) 小高区

まずはじめに、小高区地域協議会委員の皆様をご紹介します。

委員一覧（小高区）を読み上げ

小高区地域協議会委員の皆様を代表しまして、林 勝典様に、委嘱状を交付いたします。

市長が委員の前に進み、委嘱状交付

(2) 鹿島区

続きまして、鹿島区地域協議会委員の皆様をご紹介します。

委員一覧（鹿島区）を読み上げ

鹿島区地域協議会委員の皆様を代表しまして、加藤 栄伸様に、委嘱状を交付いたします。

市長が委員の前に進み、委嘱状交付

(3) 原町区

続きまして、原町区地域協議会委員の皆様をご紹介します。

<p>市長</p> <p>総務課</p>	<p>委員一覧（原町区）を読み上げ</p> <p>原町区地域協議会委員の皆様を代表しまして、西山 良雄様に委嘱状を交付いたします。</p> <p>市長が委員の前に進み、委嘱状交付</p> <p>委員の皆様方には、2年間、ご協力をお願い申し上げます。</p> <p>3 市長あいさつ</p> <hr/> <p>続きまして、市長よりご挨拶を申し上げます。</p> <p>市長あいさつ</p> <p>4 職員紹介</p> <hr/> <p>続きまして、本日の出席職員を紹介いたします。</p> <p>市長・副市長・教育長・区役所長・部長の順に紹介</p> <p>5 各区での議事</p> <hr/> <p>続きまして、各区での議事に移ります。議事の進行の方法について、事務局から説明願います。</p> <p>各区会長・副会長の選出方法について説明</p>
----------------------	--

<p>総務課</p>	<p>6 議事</p> <hr/> <p>次第6の議事に移ります前に、各区の会長・副会長が決まりましたので、ご紹介いたします。</p> <p>①小高区地域協議会 会 長 林 勝典 様 副会長 玉川 敬 様</p> <p>②鹿島区地域協議会 会 長 遠藤 賢明 様 副会長 加藤 栄伸 様</p> <p>③原町区地域協議会 会 長 高野 博幸 様 副会長 山城 雅昭 様</p>
------------	---

	<p>なお、本日の出席委員数は、小高区地域協議会 13 人、鹿島区地域協議会 12 人、原町区地域協議会 9 人の出席であり、各区地域協議会とも過半数を超えておりますので、本日の 3 区合同地域協議会の会議は成立していることを報告いたします。</p> <p>それでは、次第 6 の議事に移ります。</p> <p>議事の進行については、地域自治区の設置等に関する協議書の規定により、会長が会議の議長となりますので、開催区である小高区の林会長、議事の進行をよろしく願いいたします。</p> <p>①平成 30 年度南相馬市一般会計当初予算の概要について</p>
<p>小高区地域協議 会長</p>	<p>それでは、報告事項①「平成 30 年度南相馬市一般会計当初予算の概要について」を議題といたします。それでは担当課の説明を求めます。</p>
<p>財政課</p>	<p>財政課 資料により説明</p>
<p>小高区地域協議 会長</p>	<p>ただいまの説明について、質問をお受けいたします。なお、質問については、多くの委員の方からお受けしたいので、最初はおひとり 3 問までとさせていただきます。その後、時間がありましたら、再度質問をお受けいたします。それでは、質問をお願いします。</p> <p>(質疑応答)</p>
<p>多田委員 (鹿島区)</p>	<p>鹿島区が多田です。</p> <p>100 年のまちづくりの中で市長が掲げておりました、30 km 圏外の格差解消、高速道路の無料化について関係機関との協議の実施とありますが、どの程度の内容かお聞かせ願います。</p>
<p>市長</p>	<p>鹿島区の格差是正を公約に掲げました。あわせて小高区の入院機能の再開も掲げております。これらの背景として、合併から 12 年経過しました。本来なら市がひとつになっ</p>

	<p>て復興事業にあたるのですが、震災の影響により20km・30km圏ラインが引かれてしまいました。それが区の境に重なるということで、区ごとに賠償・支援の状況が違ってきます。その結果、各区での意識の違いがあるのではないかと考えています。これから復興していくためには区の格差をなくさなくてはならないと考えた次第です。その手段として、コミュニティーをひとつにしていく、そのために高速道路とか放射線の影響とか申し上げました。高速道路は鹿島区につきましても6月議会に関連したものを提出したいと考えております。市（議会）の予算も通りますので、鹿島区ばかりでなく原町区小高区の皆様のご理解も得なければなりません。鹿島区の、国の支援の状況が違うものに、高速道路無料化、医療費の負担・国保税の負担という問題があります。いろいろありますが、私は「全部はできません」と申し上げました。高速道路料金くらいは市の責任で行いたい、ということで公約に掲げました。高速道路につきましても金額を精査しておりますが、概ね一人年間平均5～6万円くらい使っているようです。それを鹿島の30km圏外の方たちも2年間実質無料になるように考えております。ETCでお支払いいただいて、あとから平均額をお返しするという方法で高速道路の格差をなくすということを主に考えております。しかしNEXCOとの協議があり、それだけでいいのかという問題もありますので、市が最終案をまとめております。鹿島区の地域協議会の皆様には改めてお集まりいただいて、ご協議いただいたものを6月議会に提出したいと準備を進めております。</p>
<p>小高区地域協議 会長</p>	<p>ただいまの回答でよろしいでしょうか。</p>
<p>多田委員</p>	<p>ありがとうございました。</p>
<p>小高区地域協議 会長</p>	<p>そのほかございませんか。</p>

<p>山崎委員 (小高区)</p>	<p>小高区 山崎と申します。</p> <p>100年のまちづくりの中で、当初の計画から1年前倒しでの策定開始とありますが、わたくしの理解では、平成31年度から4年の総合計画とは、当初予定の前期5年後期5年トータル10年の総合計画に対して、後期5年を1年前倒し、なおかつ4年に圧縮しての計画作成ということと、前期5年を4年に短縮ということで、それを踏まえて後期計画となりますと、すでに（経過した）3年計画の総括をどのように反映させるのか。さらに、トータル10年を8年に圧縮となります。復興事業の今後の進捗をどのように見通しているのか、ご説明をお願いします。</p> <p>もう一点、7ページ「生産年齢人口の拡大」のなかで、魅力的な就労場の確保ということで、市内に工場を新・増設した場合の従業員新規雇用に関する補助とありますが、詳細な計画があればご説明をお願いしたいことと、すでに市内に他地域から進出する場合には、国および県から立地補助金等の助成がありますので、それらの当初の計画している補助金の重複、その他の懸念等をご説明をお願いします。</p> <p>最後、5ページ「復興のさらなる推進」の中で、ロボットテストフィールドの整備とありますが、当市の復興工業団地の進捗状況に鑑みて、隣接自治体の、具体的には浪江町棚塩工業団地と計画等比較した場合、当市の目的目標が当初の予定と進捗的にどのような状況にあるのか、ご説明をお願いします。</p>
<p>小高区地域委員会 会長</p>	<p>ただいまの質問について、回答をお願いします。</p>
<p>猪野委員 (原町区)</p>	<p>ただいまの質問に関して、関連しますので質問よろしいですか。</p>
<p>小高区地域委員会 会長</p>	<p>関連するということで、よろしくをお願いします。</p>
<p>猪野委員</p>	<p>生産年齢人口の拡大ということで1ページに大きく掲げておりますが、6ページの「人材確保策の推進」というこ</p>

	<p>とで不足する介護員を養成するとありますが、(介護員を増やすことを) 南相馬市全体の生産年齢人口の拡大ととらえているのか。</p> <p>7ページの魅力的な就労の場の確保とあり、お金を出して新たな雇用を生み出すのは大事ですが、就労の場、これは人材確保の推進につながってくるのですが、会社・工場等で社員を採用したら、社員がすぐ力になるものではないです。研修を受けたり、資格がないと社員として力にならない。ですから、採用したから雇用がうまれるというよりも、人材確保するならば、将来、就労の中で力を発揮できるような国家試験・技術資格者を増やすなど、企業の中で必要な人材に対する形式を考えられないか。</p> <p>5ページのロボットは将来的に南相馬市の復興に欠かせない位置づけであるだろうと認識していますが、企業として地域経済にどのように影響していくのか。震災後の建設の仕事がなくなっていくなか、少子高齢化が進み、100年の計画に向かって、ロボットはすぐに地域経済に結びつくのか。地方の企業にとって生産や収入に結びつくのか。</p> <p>高速道路が出来ているが、輸送物資のアクセスが非常に悪い。コスト調整や道路のロケーション等にビジョンがないと(他地域の)企業から「ここで起業したい」と思われたいのではないのか。もう少しわかりやすいものを提示できないか。</p>
<p>小高区地域協議 会長</p>	<p>5ページのロボットテストフィールドに関する件、7ページの魅力的な就労の場の件、復興総合計画策定事業の件についてお願いします。</p>
<p>市長</p>	<p>復興総合計画について説明いたします。通常は10年間の基本構想があります。それを実現するために三層構造になっております。10年間の基本構想があって、それを4から5年に分けて前期後期の基本計画があります。その下に3年くらいの実施計画があります。この3層の下に毎年予算を作っております。その際に(基本構想を)10年にしたり8年にしたり、基本計画を4年にしたり3年にしたりしております。</p>

<p>経済部長</p>	<p>震災から8年目となりました。従来であれば（基本計画を）4年と考えておりましたが、震災後の復興復旧については、先を読むのが難しいことがあります。小高区によっては避難区域解除に伴って新しい問題も出てきます。それと通常、基本計画は5・5年ですが、市長任期が4年ですので、公約と基本計画との関係で、去年に基本計画を作成したばかりで、新しい市長が就任した場合に、（公約と基本計画の）どちらをどのように重視して予算を組むか、という問題もあります。今回ちょうど（前期計画）4年目ですので、区切りとして前期計画の総括をしたいと考えております。あわせて後期計画を前倒しして見直しする必要があります。（後期計画を）4年にいたしますと次の市長の任期にあわせて、最初に4年間の計画づくりをする、あるいは以前の総括をしたうえで新しい4年間の計画を作るというタイミングもありますので、平成30年度に1年間前倒しして作りたいと思っております。進捗状況につきましては、分析をしながら問題点を次の計画に反映させていきます。1年間ごとに評価を行っておりますので、年度前半ぐらいに評価ができると思います。来年の当初予算に4年間の計画を取り込んでいきたいと考えております。2年あきますので、伸ばすか、新しい8年間の計画を作るか、状況によって行っていきます。</p> <p>ロボットテストフィールドについて説明いたします。大元となる構想は福島イノベーション・コースト構想でございます。東日本大震災・原子力災害におきまして多くの産業を失いました。この産業を回復する目的で、国が中心となって新たな産業技術の基盤整備を目指すものです。南相馬市は福島ロボットフィールドの指定を受けました。無人航空機エリア、インフラ点検・災害対応エリア、水中・水上ロボットエリア、開発基盤エリアの4つからなります。また浪江町に長距離飛行のための滑走路など整備しています。ロボットテストフィールドは今年度から順次開所を目指しており、平成31年度内の完成を目指しております。国・県・市が一体となって計画整備しているものです。</p> <p>無人航空機向けは、国内最大の飛行区域、滑走路、飛行</p>
-------------	--

<p>経済部長</p>	<p>場を整備しながら、様々な飛行実験ができる環境です。</p> <p>水中・水上ロボットエリアは、水中のインフラ点検、災害対応の実証実験に耐えうる国内唯一の試験場です。水中で発生されると予想される事象の実験を行います。</p> <p>インフラ点検・災害対応エリアは、ロボットによるインフラ点検、災害による実証実験を行える国内唯一の試験場です。</p> <p>(福島県が) 地域復興実用化開発等促進事業費という補助金を設けており、南相馬市内では12事業所に補助金を交付することで進めております。ロボット産業にかかわる企業に交付決定しております。市内で働く労働者の資質向上のための補助制度ですが、市としては魅了ある職場環境づくり事業補助金を制度化しまして、市内で働く労働者の定着を図る、あるいは人材確保、育児休暇・介護休暇等の取得の促進等の事業の推進のための補助金を設ける予定です。</p>
<p>建設部長</p>	<p>高速道路のアクセスが悪いという件について、皆さんにはご迷惑をおかけしております。平成27年3月に(常磐自動車道が)全線開通しましたが、国道6号線へのアクセスが悪い状況でございます。南相馬ICと6号線を結ぶために、県の事業であります福島イノベーション・コーストの重点推進計画のなかで、ロボットテストフィールドまで行くための道路を要望しており、なるべく早くできるように、県とともに推進していきます。</p> <p>高速道路からの出入口について、南相馬IC、鹿島スマートインターがございます。小高にも要望しております。3か所から各工業団地に行くアクセスを今後とも進めてまいります。7-8年で工事を完了したいと考えておりますのでご協力をお願いします。</p>
<p>経済部長</p>	<p>企業立地のご質問がありまして、回答が漏れていましたので補足します。この企業立地助成制度について3000万円から2億円と幅があります。採用する社員の数、設備投資の額によって異なります。</p>

健康福祉部長	<p>1 ページの生産年齢人口拡大について、震災前後で約 17、500 人減少しております。その中で生産年齢人口は 13、500 人。そこが不足しているのが本市の課題となっております。</p> <p>6 ページ人材確保について、復興推進するためには人手が必要なので、人材確保を推進してまいります。「介護員を養成するための研修講座等の開催」は、講座や面接会を行って、介護職員の養成確保を行っていく事業で、直接的に生産年齢人口を拡大するという施策ではありません。生産年齢拡大については最重点方針 3 で行ってまいります。</p>
小高区地域協議 会長	<p>事務局として各協議会に提示できる資料があれば、準備していただければ幸いです。</p> <p>質問ございますか。</p>
山城委員 (原町区)	<p>原町区 山城です。</p> <p>100 年のまちづくりについて、プロジェクトを作って 100 年先があるということを進めていただきたい。</p> <p>いじめの問題について、皆無にする戦略が見えてこない。世界的な問題でなくすことは困難だろうが、早期に解決をお願いしたい。</p>
市長	<p>100 年のまちづくりについて、先人から受け継いだ良さを将来に残していく、その前に壊れてしまったものを元に戻さなくてはならない。そのうえで、子供たちに残したいと思っております。しかしながら、市政をするにあたって、委員の意見がどのように活かされているかチェックする姿勢が必要と考えております。プロジェクトという提案がありましたが、そのような視点を入れられるように進めていきたいと思っております。</p>
教育長	<p>いじめ防止対策推進法が改正され、市としても条例として制定いたしました。基本方針も策定し、顔を突き合わせて教職員一丸となって防止できるよう進めていきたいと思っております。</p>

<p>小高区地域協議 会長</p>	<p>(議長) よろしいでしょうか。ありがとうございます</p>
<p>西山委員 (小高区)</p>	<p>小高区 西山と申します。 家族は郡山に避難しており、そこで生活しております。幼児二人が予防接種を受けるのですが、郡山市(民)は無料なのに、1万円くらい必要だと言われました。予算の違いがあると思いますが、8ページの「妊娠期から子育てまでの切れ目のない支援体制の構築」に含まれると思いますが、ほかの市町村(の方)が、(南相馬市が)子供たちへ支援しているのを調べて「南相馬市に来てよかった」と思えるようにしていただきたい。小高に戻ってきている子供たちも増え、将来、南相馬市を作っていこうと頑張っている子供たちも多いので、全国に「南相馬市の支援はすばらしい」と言われるまちづくりをしてほしい。</p>
<p>小高区地域協議 会長</p>	<p>回答はよろしいですか。</p>
<p>西山委員</p>	<p>要望です。</p>
<p>西委員 (鹿島区)</p>	<p>鹿島区 西ともうします。 6ページの人材確保の推進で、介護の実務者研修だけに目を向けている。私たちの事業所では視覚障がい者への支援のために、同行援護を自力で行いました。65名のヘルパー応募がありました。(費用として)40万円を払いました。受講者からは「最初からヘルパーとして働くのは自信がない。けれども、目の見えない方の支援だったらできる」とおっしゃって、私たちの事業所に登録してくれた方が10名ほどおりました。お金の使い方として、視覚障がい者団体の会長が福祉課に、福祉人材の推進を何度もお願いしています。福祉の門戸を広げ、(視覚障がい者支援の)研修も入れていただき、経験を重ねれば、福祉人材の人員の窓口は広がっていくと思いますので、よろしくおねがいします。回答は不要です。</p>

	<p>営農再開の支援がありますが、私の実家は小高ですが、土地がどんどん荒れてきています。NPO法人が毎日のように通って玉ねぎを植えています。じゃがいもも植えています。(市へ)「営農再開ってなんですか」と質問しましたら、今まで営農していた方が戻ってきて営農するのだから(NPO法人は)対象になりませんと。そのとおりだと思いましたが、再開だけでなく、営農を始める方の支援はないか考えられませんか。</p> <p>鹿島区に農地を借りようと思っていましたが、水路の法面の草刈りという話が出てきました。真野川の法面は高く草刈りが出来ません。ですので、そうした細かい視点を市で考えていただきたい。法面の草を刈れというのなら、2/3くらいのところに歩道がなければ刈れません。きめの細かい支援をお願いしたいと思います。回答不要です。</p>
<p>西山委員 (原町区)</p>	<p>原町区の西山です。</p> <p>学校を中心とした公共施設、農業施設・田んぼ、仮置き場、など除染土がまだ埋まっているが、どのように運び出そうとしているのでしょうか。運び出した後、校庭などは正常な状態になるのでしょうか。計画などご回答をお願いします</p>
<p>復興企画部長</p>	<p>現在、学校はじめ公共施設に除染の除去物が埋設しております。市は、できるだけ早く掘り起し搬出したいと考えています。今年度から学校施設と全体の搬出計画を策定する段取りになっております。今年度から着手できればと考えておりますが、関係者との協議の上、できるだけ搬出したいと思います。</p> <p>仮置き場の件ですが、中間貯蔵への搬出は環境省が搬出計画を各市町村に示しております。搬出するのは環境省ですので、環境省が作った計画に基づいて順次仮置き場から搬出を計画しており、搬出した後は原状復帰ということで元に戻して地権者に返還いたします。市としては、できるだけ早く公共施設等からの搬出、仮置き場の早期改修に努めていきたいと考えています。</p>

西山委員	優先順位はまだ決まっていないのですか。
復興企画部長	まず学校施設からできるだけ早くと市長から指示がありますので、早期に着手していきたい。仮置き場についても土地改良事業を予定しているところはできるだけ早くという優先順位をつけております。
小高区地域協議 会長	それ以外に皆さんからないでしょうか
西委員 (原町区)	原町区 西と申します 7ページの小高復興アクション・プランの中で、小高区にも避難区域があり、西側に（線量が）高い地域もあります。この辺の地域についても同じくやっていただけるのか。
小高区役所長	草刈りを実施した行政区にポイントを付与する事業ですが平成30年度については、小高区で実施した成果等を検収した上で、原町区にも広げていきたいと考えております。
市長	<p>予算関係でご意見をいただきましたので、総括的にお答えします。ロボットテストフィールドをどのように産業・市民生活にどう生かすのかと、そこが大事な点でこれから頑張るところだと思えます。大事なのは人材です。ロボットテストフィールド関連事業に市内の事業所がついていくためにも人材が欲しいという問題がございます。若い人の総数が少ないということもあります。これからの就労の場を作るためには、人材を確保・育成する、事業所が新しい分野にチャレンジする取り組みを支援するのが大事です。一気に解決するのは難しいが、着実に進めてまいりたい。</p> <p>予防接種、視覚障がい者研修の件で、きめこまかい点にも気を配ってほしいというご意見ですが、のちほど担当者に調べさせます。皆さんの生の声をいただきまして、緊急性などで取り組んでいきますので、具体的な意見をいただけるのはありがたいです。一度に全部はできませんが、ひとつひとつやっていきたい。</p> <p>除去土ですが、各市町村に割り当てがあります。南相馬</p>

<p>小高区地域協議 会長</p>	<p>市は30年度は約113,000m³です。これは確実にできると思います。そのなかで優先順位をつけていきます。学校については別枠で対応できるというので、学校・公共施設に埋設している除去土については、別に対応する予定です。なお飛散しないような安全対策を施してから搬出することになっておりますので、その手法について試験してから着手する予定です。</p> <p>すべてにやりますとお答えできないのが申し訳ないが、皆様のご意見を賜りながら担当から次回までに回答してください。よろしくお願いします。</p> <p>それ以外にありますか。なければ報告①の質疑を終了します。ここで休憩を入れたと思います。</p> <p>(休憩)</p>
-----------------------	---

<p>小高区地域協議 会長</p>	<p>議事を開催したいと思います。</p>
<p>総務課</p>	<p>議事に入る前に、事務局から議事録署名人をご紹介します。</p>
<p>事務局</p>	<p>小高区 渡部 義則 様 鹿島区 多田 和夫 様 原町区 西山 良雄 様</p> <p>それぞれ各区会議録署名人として選出されましたので報告します</p>
<p>小高区地域協議 会長</p>	<p><u>②南相馬市農業農村活性化施設条例・施工規則の廃止（案）</u></p> <p>それでは協議事項②南相馬市農業農村活性化施設条例・施工規則の廃止（案）を議題といたします。担当からのご説明をお願いします。</p>

<p>農政課長 農政振興係長</p>	<p>農政課 資料により説明</p>
<p>小高区地域協議 会長</p>	<p>ありがとうございました。ただいまの説明についてご質問があれば受付いたします。</p>
<p>山城委員 (原町区)</p>	<p>解体について、どのくらいの費用がかかるのでしょうか。もしわかりましたら教えてください。住民の意見をしっかり取り入れて、上手く跡地の利用をおねがいします。</p>
<p>農政課振興係長</p>	<p>解体費用について、概算で3400万円程度でございます。</p>
<p>小高区地域協議 会長</p>	<p>他に質問はございませんか。</p>
<p>山崎委員 (小高区)</p>	<p>関連の質問で、解体したときの廃棄物は、一般管理でしょうか。</p>
<p>農政課</p>	<p>9月30日に条例廃止で解体予定と載っていますが、仮に解体撤去が決定したとき、実際に工事に着手するまでの期間にリスク等がありますか。</p>
<p>農政課</p>	<p>一つ目のご質問ですが、一般管理とは廃棄物の種別ですか。</p>
<p>山崎委員</p>	<p>はい 廃棄物の種別です。</p>
<p>農政課</p>	<p>事業系の一般廃棄物になります。</p>
<p>農政課</p>	<p>二つ目のご質問ですが、条例を廃止して工事着手までどのくらいかかるのかというご質問だと思いますが、解体工事の設計を策定して、その後に実際の解体という流れになります。ですので、しばらく時間がかかりますが、安全面ですが、利用していないので問題ないと考えております。</p>
<p>小高区地域協議 会長</p>	<p>よろしいですか。ほかに質問はございませんか。</p>

<p>猪野委員 (原町区)</p>	<p>11ページの南相馬市公共施設等総合管理計画を見ますと、こうなっているんだなど。我々民間は、仕事を増やすのではなくて、いかに仕事を減らすのかが仕事で、もっと早めに対処できたのではないか。他にも類似した事例はないのか。馬事公苑はどうなっているのか。時間があれば教えてください。</p>
<p>市民生活部長</p>	<p>震災以降、若干の放射性物質が検出され利用ができませんでした。その後、全地域を除染しまして、現在では馬術大会等を開催する状況です。さらに、今年から馬をおきまして乗馬体験ができる状況です。JRAの引退した競走馬をおいたらどうかという提案をうけまして、検討している状況でございます。さらに、馬事公苑にディスクゴルフコースを設置しまして、それらの利用者もたくさん来まして活用しています。広報含めまして馬術の活性化を図りたいと思います。</p>
<p>小高区地域協議 会長</p>	<p>ありがとうございました。他になければ、これで報告事項②南相馬市農業農村活性化施設条例・施工規則の廃止(案)パブリックコメントの実施についての質疑を終了いたします。以上で報告事項を終了します。それでは議事(2)のその他に移りますが、委員の皆様や事務局から何かありましたらよろしくお願いします。</p> <p>なければ、以上で本日の会議を終了いたします。皆様のご協力大変ありがとうございました。</p>
<p>総務課</p>	<p>7 閉会</p> <p>それでは、以上をもちまして、平成30年度第1回南相馬市地域協議会合同会議を閉じさせていただきます。ありがとうございました。</p>

会議録署名人

小宮区
渡部義則

会議録署名人

鹿島区
多田和夫

会議録署名人

原町区
西山良雄

